

## LPガスCP情報(2014年11月積み)

### 1. 11月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン610<sup>ドル</sup> (前月比 -125<sup>ドル</sup>)

ブタン 600<sup>ドル</sup> (前月比 -165<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、供給が潤沢なのに対し消費国の在庫が高いためマーケットは需給緩和感が強く、原油市況、ナフサ等石油製品市況も急落するなか、LPガススポット市況は大幅に続落した。CP先物は月間を通して急落、第2週で700<sup>ドル</sup>を割り込み、第4週でブタンは600<sup>ドル</sup>を割り込んだ。なお、期先は12月限をピークに1月以降はバックワーデーション(期先安)。極東CFRは月間で大幅軟化、直近でプロパン693<sup>ドル</sup>、ブタン673<sup>ドル</sup>。フレート市況は船舶需給緩和で100<sup>ドル</sup>を割り込んだが、スエズ以西で需要増加、台風などの影響もあり第3週に反騰、高値で推移したが、バンカーオイルは前月比70<sup>ドル</sup>の急落。ナフサは原油市況の急落で第4週は707~725<sup>ドル</sup>まで下げており、月間平均で755<sup>ドル</sup>と前月比120<sup>ドル</sup>の急落、ブタン安が顕著になった。一方、米モントベルビュープロパンスポット価格は月初の550<sup>ドル/トン</sup>台から27日には451<sup>ドル/トン</sup>に急落。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン5.7、ブタン11ポイントの下落、前年同月比ではプロパン11.6、ブタン17.7ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	98	94	108	101	100
CP先物指標:P	729	664	636	603	658
CP先物指標:B	749	669	621	583	656

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、10月WTIは90<sup>ドル</sup>台後半で始まり第2週以降急落し、16日には一時80<sup>ドル</sup>を割り込んだ。ファンダメンタルズの弱さを地政学的リスクが下支えしてきたが、11月OPEC総会を前に加盟各国が11月調整金を引き下げ減産合意が困難視され、欧州、中国等の景気減速懸念とリビア原油輸出増からブレント、ドバイ原油も急落した。一方、米原油生産量は1985年6月以来の895万b1/d超えの高水準が続き、米原油在庫は製油所稼働率の低下で増加した。原油先物市場は投機資金がドル・株式にシフトされ、総取組高は昨年1月以来の150万枚割れが続き、21日時点の大口投機玉の買越は28万枚と過去最高を更新した6月から4割の減少、手仕舞い売りが進んだ。

○10月積みアラビアンライト(10月1~27日)は87.196<sup>ドル</sup>(前月比-11.282<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン714.92<sup>ドル/トン</sup> ブタン705.11<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン 85.32% ブタン 85.09%

### 2. 2014年11~12月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	108.26	66,039	64,956	-14,500	-18,800
26~25日②	109.04	73,300	74,400	-6,000	-8,700
1~30日③	108.88	73,200	74,300	-6,800	-9,500

\*TTS平均は①が10月16日~10月29日まで、②は9月26日~10月25日

③は10月1~29日、①は12月仕切への影響、②~③は11月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。